

なぜ先端医療をもとめるのか

講師 柘植あづみ

明治学院大学教授・お茶の水女子大学客員教授

講師及び講演内容の紹介

柘植あづみ先生は、1996年3月に本研究科を修了し、博士号を授与されました。博士論文が基となった著書『文化としての生殖技術—不妊治療に携わる医師の語り』(1999、松籟社)は、山川菊栄賞を受賞しています。21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」では、「生殖補助技術とジェンダー」にかかわる事業推進担当者として若手研究者育成にあたられました。また、女性の健康と安全のための支援教育センター(NPO法人)運営委員、東京大学バイオサイエンス委員会ヒト生殖・クローン専門委員会委員、東京大学同大医科学研究所倫理審査委員会委員なども歴任し、社会的な活動に参加しています。このたびは、法制化をめぐる議論を活発化させるべく「生殖補助技術と倫理」の問題について講演して下さることになりました。皆様、ふるってご参加ください。

参加無料: ※申し込み必要、参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先を、FAXにてご連絡ください。
なお、応募多数の場合は締め切らせていただきます。

応募先: ジェンダー研究センター『生殖補助技術と倫理』FAX: 03-5978-5845

生殖補助技術と倫理

場所: 生活科学部135室カンファレンスルーム

2008
10/21

13:20

↓

14:50